

Magic BLEND Room

Parallel Effect Loops w/Frequency Splitter



VOCU Magic BLEND Room は2系統の平行・エフェクト・ループに様々なアシスト機能を付加したブレンド・ボックスです。本機のみでギターやベースのベーシックな音色を補正することも、スイッチングやバッファーを利用してエフェクトシステムをアシストすることも、複数のエフェクトをブレンドしてまったく新しいエフェクトを生み出すことも可能です。

主な機能

- ☆ 2 平行・エフェクト・ループ
- ☆ フリケンシー・スプリッター
- ☆ ロー・ブースター
- ☆ トレブル・ブースター
- ☆ レベル・ブースター
- ☆ バッファー・アンプ
- ☆ 3チャンネル・平行・ボックス
- ☆ 3チャンネル・ミキサー
- ☆ フェイズ・インバーター
- ☆ ライン・セレクター
- ☆ 疑似ステレオアウトプット
- ☆ センター定位キャンセル



スペック

- インプット：アンバランス、470 k Ω
- センド A & B：アンバランス、1 k Ω
- リターン A & B：アンバランス、510 k Ω 、Max +20 dB
- アウトプット：アンバランス 1 k Ω
- ハイ・カット：150 Hz ~ 8 kHz
- ロー・カット：150 Hz ~ 8 kHz
- 電源：センター・マイナス直流 9V ~ 12V、20 mA
- 006P バッテリーライフ：マンガン = 22 h、アルカリ = 25 h、終止電圧 5.4V
- フットスイッチ：標準モノラルプラグラッチフットスイッチ（オープン・ショート）

VOCU Magic BLEND Room
希望小売価格 ¥27,300 (税込)
¥26,000 (税抜)

主なコントロール

- Send A/B：ロー / ハイ・カット・フィルターを持つ平行・アウトプット
- Return A/B：レベルコントロール付きミキサーインプット
- Loop A/B Level：レベルブーストが可能なミキサー入カゲイン
- Low Cut：Send A に出力するシグナルへのローカット・フィルター周波数コントロール
- High Cut：Send B に出力するシグナルへのハイカット・フィルター周波数コントロール
- Hi-Cut/Lo-Cut：各カット・フィルターのオン・オフ
- Dry：ドライ・シグナルのオン・オフ
- Mute FS：Mute スイッチでオン・オフするループの指定
- Latch FS：増設フットスイッチ・ジャック Mute FS の他方のループをオン・オフ
- Mute：ループのオン・オフ
- Mute LED：Loop A がオンなら青、Loop B がオンなら赤、両方オンなら紫に点灯
- True Bypass：マスター・ハードウェア・バイパス

裏面には主な使用例を記載しています。

代表的な使用例

●パラレル・エフェクト・ループ

Loop A および Loop B へ任意のエフェクターを接続し、各レベルノブで2つのエフェクトのミックスバランスを調整できます。フットスイッチによって各ループのオン・オフもできます。

●イコライザー機能（ロー・ブースター & ハイ・ブースター）

本機のみで機能します。レベルとフリケンシーを調節していくと、ローを厚くしたり、ハイエンドを強調することができます。余分な周波数を取り除いただけの音をドライに加えていくので、イコライザーのような音質変化ではなく、自然な音質補正が行えます。

●歪み系のミックス・テクニク

周波数ある程度カットしてから歪ませることで、全周波数が入力されていたときとは異なるサウンドの歪みが得られます。どちらか一方をメインの歪みとして、キャラクターを変えるために補助の歪みを加える使い方も効果的です。ベースリストであれば一方をドライ用、他方を歪みにセットして、適度にドライを加えることで、歪みながらも音程感のしっかりとした腰のあるサウンドになります（ギター環境でも少しドライを混ぜることで同様の効果が得られます）。

●奇抜な空間系エフェクトの複合技

極端な例で言えば、低音域はディストーション / 高音域はクリーン、低音域はフランジャー / 高音域はコーラス、低音域はリバーブ / 高音域はディレイ、といった過去に例のない効果を生み出すことができます。

●ハーモニック・エンハンサー

本機単体でハーモニック・エンハンサーとして機能します。

●ピンポイント・エキサイター

本機とパライコの組み合わせで、狙った周波数だけの倍音を増幅させることができます。

●レベル・ブースター

バイパス時、Loop A のみ、Loop B のみ、Loop A + Loop B の4つのレベルを制御でき、チューブアンプのプッシングをより細かいブースト・レベルで制御できます。

●バッファ・アンプ

Return A と Return B にはバッファリング回路が組み込まれています。ギターアンプのセンド・リターンやマルチエフェクターの外部エフェクト・ループにおける非適応エフェクターをインピーダンス・マッチングさせることが可能です。また、内部基板へのパーツ追加でさらに適応範囲の広いトランジスタ・バッファ・アンプを組み込むことも可能です。

●3チャンネル・パラレル・ボックス

Send-A と Send-B からは常にシグナルが出力されていますので、これらのジャックはパラレル出力として利用できます。

●バイアンプ / フリケンシー・スプリッター / チャンネル・デバイダー

Send A と Send B からパラレル出力を得る際に、Lo-Cut および Hi-Cut スイッチを On にセットすれば、ベースアンプのバイアンプ・システムや PA システムにおけるチャンネル・デバイダーのような機能が得られます。

●3チャンネル・ミキサー

Return A と Return B のみにケーブルを接続すればミキサー・インプットとして機能します。ドライ + 2チャンネルのレベル & ミュート機能付き簡易モノラル・ミキサーとして本機を利用することができます。

●デジタルマルチエフェクターの歪みに喝を入れる

モデリングアンプ・サウンドがまとまり過ぎていておもしろみに欠けると感じたら、アナログの歪みをブレンドして暴れさせましょう。

●トゥルーバイパス

効果は気に入っているがバイパス時の音ヤセが気になってシステムに組み込むのをためらってしまうエフェクターも、本機ならばバイパスはハードウェア・トゥルー・バイパスなので全く問題なく利用できます。

●フェイズ・インバーター

本機の Loop B には、位相を反転させる Phase スイッチが装備されています。意図的に位相を反転させたいならば、Loop B へエフェクトを接続して、Phase スイッチを Rev へセットしてください。これを応用することで、疑似ステレオ効果（Send A & Output）や、センター定位キャンセル機能（Return A & Return B+Rev）も利用できます。

●ライン・セレクター

Loop A/B Level を最小にすることで Output ⇔ Send A/B のライン・セレクターとなります。

<http://www.vocu.jp> にてマニュアルの参照やサンプル動画を見ることができます。

有限会社ヴォーキュ www.vocu.jp

171-0031 東京都豊島区目白 4-36-6-302 TEL: 03-3950-5936 E-mail: support@vocu.jp